

北海道江別高等学校 全日制課程 スクールミッション・スクールポリシー

◇生徒の状況

素直で純朴であるが、安定志向が強く高い目標を定めて努力することや現状変化に対しては消極的である。目標設定の意義や達成への具体的な手立てを示すことにより向上心を高める生徒も多い。

◇生徒や保護者の期待

生徒と同様に安定志向が強く落ち着いた学校生活を送ることを重視する。進路指導に関しては、子ども自身が定めた目標を尊重し、目標達成のための実効的な指導に期待している。

◇地域のニーズ

地域の将来を担う、資格や知識を持つ創造力・行動力を有する人材育成への思いが強く、学校教育との連携にも積極的である。中等教育修了後の即戦力の活躍への期待も大きい。



【学校教育目標】

- 1 一歩踏み出す行動力の育成を図る。
- 2 課題解決に向けた創造力の育成を図る。
- 3 自他を尊重する人間力の育成を図る。

【重点目標】

- 1 常に前向きで何事にも粘り強く取り組む姿勢を養う。
- 2 多くのことに疑問を持ち考え抜く力を養う。
- 3 自らの正しい判断をする力と他を思いやる心を養う。

スクールミッション（生徒育成指標）

- 社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付け、持続可能な社会の実現に努める生徒の育成
- 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- ◎地域の未来を担う創造力・実践力に満ちた人材の育成（本校独自の設定）

スクールポリシー（生徒育成方針）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- ・高大連携（主に江別市内4大学）による専門的知識と実践的能力を育む
- ・各種資格取得を積極的に推進する
- ・国際交流と地域連携によるグローバルとローカルの視点を持つ人材を育成する
- ・総合的な探究の時間を活用し、地域を知り・地域を学び・地域に提案する段階的学びを通して地域の未来に主体的に関わる人物を育成する

○教育課程編成及び実施に関する方針

- ・専科教員を活用した学科横断的な教育課程の編成及び実施
- ・生徒の主体的学びを単元構造型シラバスの作成
- ・地域創生の実践力を身につけるための近隣大学3校との連携による専門性の高い教育課程科目の設定
- ・ICT機器を活用した学びの実践とコンピュータ台数の利点を生かした情報活用能力の育成
- ・PW・GWの積極的な推進及び全教科全科目における課題解決型学習のシラバスによる位置づけ

○入学者の受入れに関する方針

- ・教科学習にとどまらず、部活動や生徒会活動に積極的に参加する意思を持つ生徒
- ・社会における多様性を理解し、協働的に動く生徒
- ・自分の暮らす地域に興味を持ち、地域の未来を主体的に考える生徒
- ・変化を畏れず、自己変革に努めようとする生徒